

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サニーぶれいず				公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・部屋に仕切りがあるので利用者によってカスタマイズできる ・大きい部屋だけでなく個室も用意されており、利用者の状況によって対応できる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・障がいや重度な子に対してはほぼ1対1で対応できている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・デイトレスの部屋は2階であるがエレベーターや外階段が設置されている ・活動に合わせて備品の置き場を配置している ・コミュニケーションツールを使用している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・掃除を毎日行っている ・定期的に喚起を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	・必要に応じて認めている ・医務室や相談室などを個室代わりに使用することもあるが 個室として使える部屋が少ない	・個室として使える部屋はあるが少ない ・個別対応よりも集団での活動も大切にしてるので 「活動が終わったら行こう」などの声かけをしている ・クールダウンに園庭を利用することもおおい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・ミーティング時に日々ふりかえりを行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・すべて「はい」の保護者や「いいえ」保護者もいるので把握は難しい モニタリングや送迎時にも確認を取っている	・評価表にかかれた内容は職員会議などで確認できることから始めている
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか？	7	1	・常に話し合いをしている	・話し合いの時間は適宜とり、意見の言いやすい環境を作っているが、当てられないといえない職員もいるので話を振るようにする
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	・外部評価は行っていない ・わからない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・外部の研修は希望がすれば参加できる ・内部研修で 3か月に1度の動画視聴や研修に行った職員からの研修発表会がある また、2月に法人全体で一日研修を行っている	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	・支援プログラムの公表を行っている ・当日のプログラムについてはその日の状況（天気・利用者・職員）で決めている	・公表していることを周知する
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・全体会議、職員・家族とのモニタリング後に作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・会議で職員がこどもについて共通理解・共通支援ができるように話し合った後で計画を作成している ・今はしんどくても、のちのちこどもの利益となる活動については家族にも理解してもらっている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・計画された支援内容に沿った支援をおこなっている ・計画表を支援記録を個別ファイルにはさみ、いつでも見られるようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・出された案をみんなで楽しむにはどうすればいいかをチームで取り組んでいる	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・続けて同じ内容にならないように一部変更したり、工夫したりして提供している ・固定化を好むこどもに対してはちょっとずつ変化を取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・毎日打ち合わせをし、司会や利用者担当を決めている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	翌日に職員全員で振り返りをして話しやすい雰囲気を出し、少しの気づきもいえる場になっている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		・「活動（創作・ダンス・ゲームなど）」の時間と「余暇の時間（自由遊び）」を取り入れている ・わからない	・職員に周知する
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	・担当者会議自体に声をかけられることが少ない。 ・時間帯にもよるが複数名で参加している ・「計画」は届くので参考にしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・特別支援学校の先生とは連携をとれている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	・学校の年間予定をホームページで確認している ・家族からの連絡が多く、学校からの予定変更については聞かないとわからない	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・サービス利用開始時に情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	・移行支援会議に招待されたときは参加している ・電話で情報提供することもある	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・地域を交えた法人行事に参加している 登録曜日関係なく広く参加を呼び掛けている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	・管理者が運内協議会に参加している	・職員に周知する
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・連絡帳や送迎時を利用してこどもの状況を伝えている ・保護者からの情報は職員間で共有している	

保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	・ペアレントトレーニングの必要性を感じ研修を受けた	・研修の結果を活かす
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	2	・利用契約時に説明をしている	・利用契約時にすべて読んで説明しているが、量が多いので工夫が必要
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	・親の思いが強いと宙ぶらりんになってしまう	・
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		8	・以前は保護者会を行っていた ・以前行っていた時も参加者が限られたいつも同じ保護者だった	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	・苦情は職員間で共有し、改善している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・インスタグラムを利用している 口では説明が難しい活動や子どものいい表情をみせてもらっている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・絵カードや写真などを利用している	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	・事業所自体の行事への招待はないが法人主催の地域交流事業に事業所も参加し交流している	・法人の行事にはチラシやインスタグラムなどでこえをかける	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・マニュアルはすべて整っており職員は周知している家族には説明をした ・感染症防止対策や防犯など訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	・想定した訓練を行っているが大人の事業所と合同で谷こなうため、曜日によっては訓練をしてない曜日もある	・すべての子どもが訓練を受けられるよう年6回の訓練を行う
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1	・確認はしているが、この数年支援中に大きい発作を起こした子どもがおらず、てんかん発作を見たこともない職員もいる	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・今のがところ対象の利用者がいない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	・職員は適宜研修を受けている ・安全管理を十分に行っている	・すべての子どもが訓練を受けられるよう年6回の訓練を行う
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	・虐待防止等の研修を2回行った	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	・やむを得ない身体拘束についてはモニタリング時に家族と確認し計画に載せている ・日々の業務の中で気づいたことがあれば共有するほか、毎月の会議で共有する機会がある		